

2020年6月19日

受益者の皆さまへ

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

**米国分散投資戦略ファンド（1倍コース／3倍コース／5倍コース）
愛称「USブレイン1／USブレイン3／USブレイン5」
目論見書の臨時改版について**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「米国分散投資戦略ファンド（1倍コース／3倍コース／5倍コース）」（以下、当ファンド）において、2020年6月19日を使用開始日として目論見書の臨時改版を行い、ファンドの目的・特色の記載内容を一部変更いたしました。

当ファンドの運用において、市場のリスクが急激に高まったと考えられる局面では、リスク抑制のため、短期金融商品等への投資を行うことで、実質的な投資額の引下げや、投資対象とする指数または証券の変更を行う可能性がございます。今般の臨時改版では、上記についての記載を追加いたしました。変更箇所の詳細につきましては、当資料の2,3ページ目をご覧ください。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

敬具

＜本件に関するお問い合わせ＞
三井住友DSアセットマネジメント コールセンター 0120-88-2976
[受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

＜お客さまの個別のお取引内容についてのお問い合わせ＞
お取引先の販売会社にお問い合わせください。

変更箇所の詳細

※黄色ハイライト箇所を明記いたします。

＜ファンドの目的・特色＞

＜特色1＞ 米国の株式、債券および不動産投資信託（リート）ならびにコモディティ等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

- 実質的な運用は、ケイマン籍円建外国投資信託証券「TCW Qアルファ・レバード・US・ディバーシフィケーション・ファンド（円ヘッジクラス）」への投資を通じて行います。また、「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」への投資を通じて、主として円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
 - 外国投資信託証券においては、米国株式、米国債券、米国リート、コモディティの4つの資産を投資対象とします。
 - ・ 機械学習を活用した独自のアセットアロケーション戦略により、徹底したリスク分散を図ることで、リスク・リターンの良いポートフォリオの構築を目指します。
 - ・ 外国投資信託証券では、先物取引等を活用し、投資額が外国投資信託証券の純資産総額の5倍程度となるように投資を行います。市況動向、各資産の流動性等によってはETF等を通じて投資を行う場合があります。
- ※ 市場のリスクが急激に高まったと考えられる局面等において、短期金融商品等への投資を行うことがあります。この場合、投資額が外国投資信託証券の純資産総額の5倍程度を大きく下回る場合があります。
- ・ 保有する外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。

＜当ファンドが実質的な投資対象とする主な4つの資産＞

資産	投資対象とする指数または証券
米国株式	S&P500
	NASDAQ100
米国債券	米国10年国債
	モーゲージ証券
米国リート	ダウ・ジョーンズ米国不動産指数
コモディティ	Bloombergコモディティ指数
	金

- ※ 各資産への投資にあたっては、主に先物取引等を活用します。市況動向、各資産の流動性等によっては、各種指数等に連動するETFまたは各種指数等の構成銘柄およびその先物取引等を通じて投資を行う場合があります。
- ※ モーゲージ証券への投資にあたってはジニーメイ（米国連邦政府抵当金庫）が保証するものを投資対象とし、主としてTBA取引を活用します。TBA取引とは、モーゲージ証券の先渡取引の一種で、約定時点では受け渡す銘柄を特定せず、受渡適格銘柄や取引額面・価格・決済日等の条件のみが合意される取引です。
- ※ 上記の投資対象とする指数または証券は、将来的に追加または変更となる場合があります。
- ※ 上記のほか、短期金融商品等に投資する場合があります。

変更箇所の詳細

※黄色ハイライト箇所を明記いたします。

<ファンドの目的・特色>

<特色2> リスク水準の異なる3コースからお選びいただけます。

- 主要投資対象とする外国投資信託証券では、先物取引等を活用し、投資額が外国投資信託証券の純資産総額の5倍程度^(※1)となるように投資を行います。各コースでは、外国投資信託証券の組入比率を調整することで、実質的な投資額の調整を行います。

▶ 1倍コース：外国投資信託証券の組入比率は信託財産の純資産総額の概ね20%とし、実質的に純資産総額と概ね同等額^(※2)の投資を行います。

▶ 3倍コース：外国投資信託証券の組入比率は信託財産の純資産総額の概ね60%とし、実質的に純資産総額の概ね3倍相当額^(※2)の投資を行います。

▶ 5倍コース：外国投資信託証券の組入比率を高位に保ち、実質的に純資産総額の概ね5倍相当額^(※2)の投資を行います。

※ 市場環境や設定・解約などの資金動向により、実質的な投資額がそれぞれ上記に定める水準から乖離する場合があります。また、「3倍コース」、「5倍コース」のリターン水準はそれぞれ「1倍コース」のリターンの3倍、5倍になるものではありません。

* 1 主要投資対象とする外国投資信託証券では、市場のリスクが急激に高まったと考えられる局面等において、短期金融商品等への投資を行うことがあります。この場合、外国投資信託証券における投資額が、外国投資信託証券の純資産総額の5倍程度を大きく下回る場合があります。

* 2 外国投資信託証券における投資額が外国投資信託証券の純資産総額の5倍程度を大きく下回る場合、各コースにおける実質的な投資額は記載の水準を大きく下回ります。

- 販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。なお、販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

「3倍コース」および「5倍コース」は実質的に信託財産の純資産総額以上の投資を行います。そのため市場環境等によっては基準価額が大きく変動または著しく下落する可能性がありますので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

<追加的記載事項>

TCW Qアルファ・レバード・US・ディバースィフィケーション・ファンドの概要

投資方針	<ol style="list-style-type: none">1. 米国の株式、債券およびリートならびにコモディティを主要投資対象とします。<ul style="list-style-type: none">● ポートフォリオの構築にあたっては、機械学習を活用した独自のアセット・アロケーション戦略により、徹底したリスクの分散を図ります。● 各資産への投資にあたっては、主に先物取引等を活用し、信託財産の純資産総額に対して5倍相当額の投資を行います。市況動向、各資産の流動性等によってはETF等を通じて投資を行う場合があります。※ 市場のリスクが急激に高まったと考えられる局面等において、短期金融商品等への投資を行うことがあります。この場合、信託財産の純資産総額に対して5倍相当額の投資を大きく下回る場合があります。2. 保有する外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。3. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
------	--